

# 船舶事故調査報告書

平成28年7月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年12月9日 19時43分ごろ（現地時刻）
発生場所	中華人民共和国上海港沖 （概位 北緯31°24.7′ 東経121°31.4′）
事故の概要	貨物船 <sup>ユフアン</sup> YUHUAN186は、北東進中、また、液体化学薬品ばら積船 <sup>こうほう</sup> 光邦丸は、南東進中、両船が衝突した。 YUHUAN186は、船首部に破損等を生じ、また、光邦丸は、左舷外板に凹損等を生じた。
事故調査の経過	平成28年1月26日、調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 YUHUAN186（中華人民共和国籍）、5,825トン 不明、WUHU HAISHUN SHIPPING Co., Ltd.（運航者） B 液体化学薬品ばら積船 光邦丸、993トン 141853、イノガストラנסポート株式会社
乗組員等に関する情報	A 不明 B 船長B、二級（航海） 水先人B、不明
負傷者	なし
損傷	A 船首部に破損等 B 左舷外板に亀裂を伴う凹損等
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南東、風速 約5m/s、視程 約2海里 海象：波高 約0.5m
事故の経過	B船は、船長Bが、右舷船首方にA船を視認した際、A船が船首方を左方に航行するものと思い、A船の動静を見守っていたところ、A船がB船に接近してきたので、右舵一杯を取り、機関を全速力前進にかけたが、その左舷側とA船の船首部とが衝突した。
分析	A船は、北東進中、B船と衝突したものと考えられるが、船長Aから情報が得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。 B船は、船長Bが、右舷船首方に視認したA船の動静を見守っていたところ、A船がB船に接近してきたので右舵一杯を取り、機関を全速力前進にかけたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、A船が北東進中、B船が南東進中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

	<p>られる。</p>
--	-------------

- ・ 常時適切な見張りを行うこと。